

# 立命館経済學

第八卷 第三号

昭和三十四年八月

---

## 内 容

### 論 説

- 中央銀行にかんする一考察……………小 牧 聖 徳 1
- 低発展国開発論をめぐる原理的一問題……………浜 崎 正 規 34  
——P・T・パウアー氏のミュルダール批判——
- 経営者の社会的責任……………祭 原 光 太 郎 59
- Dixon-Yates 契約について……………辻 和 夫 75  
——国家と独占資本との合体の一例証——

### 資 料

- 割賦販売の契約不履行および  
取戻し商品の会計処理……………桑 原 幹 夫 106  
——とくにH・A・Finney の所説について——

### 紹 介

- 英国で入手した一地図帳に就いて……………淡 川 康 一 127

立 命 館 大 学 経 済 学 会

---

立命館経済学 第八卷・第一号

井上次郎教授還暦祝賀論集

封建地代の

形態転化とその合法則性

阿部 矢二

『資本論』体系の図式的解明 (中)

梯 明 秀

中国人民大学『資本主義

国家の貨幣流通と信用』

武藤 守一

株価分析の重要性について

住ノ江 佐一郎

オーウェン主義の完成

松田 弘三

——『ラナーク州への報告』を中心  
とするオーウェンの経済思想——

近世丹後縮緬機業

における株仲間の一考察

足立 政男

直線傾向線と季節指数の図的計算

関 弥三郎

エス・デ・スカスキンの『中欧および

東欧におけるいわゆる「再版農

奴制」の基本的諸問題』

大藪 輝雄

欧州共同市場

における若干の問題点

清水 貞俊

発行所 立命館大学人文科学研究所

立命館経済学 第八卷・第二号

論 説

労働価値論の生成にかんする

松田 弘三

一考察

——その自然価格論との関連を中心として——

『資本論』体系の図式的解明

梯 明 秀

(下の一)

研 究

経営学における制度論的思考

植村 省三

紹 介

W・エンゲルス『ライン州に

おける償却と共有地分割』

川本 和良

発行所 立命館大学人文科学研究所